

平成 24 年 1 2 月 2 6 日

津市総合計画審議会
会長 武 田 保 雄 様

安濃地区地域審議会
会長 石 見 隆 浩

津市総合計画後期基本計画（案）に係る意見・提言について

津市総合計画後期基本計画（案）について、当審議会で慎重に審議を行った結果、おおむね適当であるとの結論に至りました。

なお、審議の過程で出された意見・提言について、下記のとおりまとめましたので、同計画に係る津市長への答申に当たっては、この内容を十分尊重していただきますようお願いいたします。

記

1. 「第 2 章 目標別計画」について

1 美しい環境と共生するまちづくり

1-2 次世代に残す自然環境の保全・創造

「第 1 項 多様な自然環境の保全」および

1-3 快適な生活空間の形成

「第 2 項 良好な景観の形成」の中に、森林・森林景観の保全と活用があげられていますが、大規模な森林の捉え方が中心となっており、里山の保全についてどう取り組んでいくのか、施策を追記していただきたい。

(理由)

山林の荒廃は、水や空気を生み出す場の減少のみならず、災害などにも直結する重大な問題です。その点について具体的な取組を明確にすべきです。

水源林や国・県の施策の対象になるような山林についての記載はありますが、経ヶ峰の麓や安濃地域の里山に関しては、具体的な取組が記載されていません。地域の里山を今後どのように守っていくかの位置づけを明示すべきです。

また、里山を住民のまちづくりに活かしていくという観点からも、里山の活用を進めていく取組を記載すべきです。

2. 3 豊かな文化と心を育むまちづくり

3-1 生きる力を育む教育の推進

「第 2 項 学校教育」【施策の内容】の中に、学校教育の場で、地域の課

題や特色を明確にし、地域の歴史や伝統など、郷土について考える取組を進めるという文言を入れていただきたい。

(理由)

安濃地域の要望として、地域の特性を活かした取組を学校現場で進めていくべきだという主旨の意見を挙げました。将来を担うであろう子どもたちが地域の歴史や文化を学ぶ中で先人の苦労や努力を知り、郷土への誇りと愛情を育む機会を作ること重要です。また、農業、山林などの安濃地域の課題について学校教育の中でも取り上げ、子どもたちが地域の将来について考えながら成長していく機会を設けていくべきです。

3. 3-3 生涯学習スポーツ社会の実現

「第2項 スポーツ振興」【施策の内容】の中に、スポーツ施設の整備として、屋内型総合スポーツ施設・安濃中央総合公園内運動施設・屋外型スポーツ施設の三つを連携させながら発展させていくという構想が必要であり、この考え方を入れていただきたい。

(理由)

津市のスポーツ施設の整備として、まず、ソフト面を含めた大きな構想・計画を明確にすべきです。その上で、各施設の具体的な整備計画を立案する必要があります。【施策の内容】に安濃中央総合公園内の多目的グラウンドの人工芝化が記載されていますが、津市全体の大きな構想の中にどのように位置づけられているかが不明確です。

また、今後計画の実施においては、地域の意向も充分ふまえたうえで実施していただきたい。